

# Oguchi おおぐち社協だより

# Shakyo

第111号

2020

7

月号

年4回発行  
(4月・7月・10月・1月)

困っていたときに、  
たすけてくれた  
人がいました。

福祉の現場や生活に困っている人へ…  
マスク・エタノールの寄贈

特集  
「立ち止まらない  
福祉の現場①」

2ページ～

## CONTENTS

- ②★特集 新型コロナショック  
立ち止まらない福祉の現場①  
福祉の貸付と食料支援、待たなし
- ④★密接する介護サービス  
★善意だより (マスクの寄贈)
- ⑥★人をつなぎ、孤立を防ぐ地域福祉活動  
社協の1年
- ⑩★令和2年度事業計画
- ⑫★令和2年度予算のあらまし
- ⑬★令和2年度社会福祉協議会会員募集  
★評議員・理事・監事のご紹介
- ⑭★介護豆知識 高齢者のための防災の備え①
- ⑮★ぎゅっと 大口町立図書館の紹介
- ⑯★おもちゃ病院おおぐち 令和2年7月から再開  
★行事中止等のお知らせ  
★善意だより (マスク以外の寄付・寄贈)

社会福祉法人

## 大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15  
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059  
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地  
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

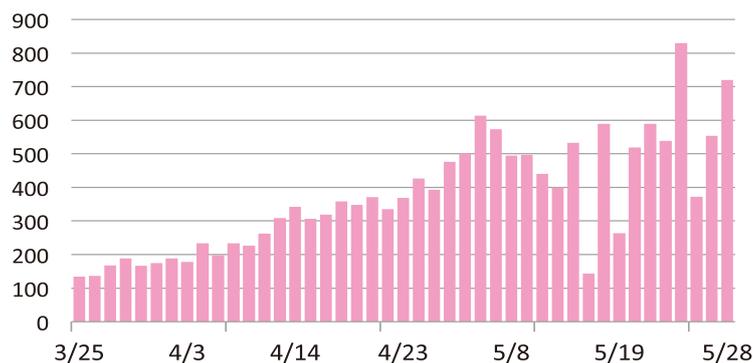
[chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp](mailto:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp)





# 特集 新型コロナショック 立ち止まれない福祉の現場①

愛知県社会福祉協議会  
新型コロナ特例生活福祉資金貸付 受付件数推移



**収入減による生活費不足  
福祉の貸付と食料支援、待ったなし**

新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下新型コロナ）の影響で、社会福祉協議会へ「お金を借りたい」という相談や申し込みが止まりません。

経済活動の停滞に加え、外出自粛や学校の臨時休校などの影響を受け、仕事が減ったり仕事に行くことができなくなったりして、休業や失業などに追い込まれる人が増えています。

都道府県社協は、低所得世帯向けの資金貸付（生活福祉資金貸付制度）を日頃から行っており、新型コロナの影響による収入減を補う特例貸付を実施することになりました。（※令和2年9月30日までの特例措置）

3月25日から市町村社協の窓口で受付を開始し、愛知県では3月末からの2カ月間で、1万3千件を超える申込みがあり、貸付金額は21億円を突破しました。

大口社協でも、地域住民の方から相談が多く寄せられています。

# 社会福祉協議会の 新型コロナウイルス特例生活福祉資金貸付 (※受付は令和2年9月30日まで)

## 休業された方向け(緊急小口資金)

### ■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯  
※新型コロナウイルスの影響で収入の減少があれば、休業状態になくても、対象となります

### ■貸付上限額

- ・学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内
- ・その他の場合、10万円以内

■貸付利子 無利子 ■保証人 不要

## 失業等された方向け(総合支援資金)

### ■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

### ■貸付上限額

- ・(二人以上)月20万円以内
  - ・(単身) 月15万円以内
- 貸付期間：原則3月以内

■貸付利子 無利子 ■保証人 不要

- ※貸付の実施主体は県社会福祉協議会、窓口は町社会福祉協議会です。
  - ※貸付件数の増加に対応するため、緊急小口資金のみの場合、都道府県の労働金庫(ろうきん)、郵便局でも申し込み窓口を設置しています(受付期限調整中)。
  - ※貸付には審査があります。また、据置期間、償還期間の定めがあります。
  - ※今回の特例措置では新たに、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができることとしています。
- 詳しくは、下記までお問合せください。

## ■相談・申込み先 大口町社会福祉協議会

大口町伝右一丁目35番地 健康文化センターほほえみプラザ2階

電話:0587-94-0060 FAX:0587-94-0059

受付時間:(月~金曜日) 9:00~17:00

※予約制、事前に電話等で予約してください。必要により時間外も相談に応じます



生活に困っている方への「まごころボックス」

特集「新型コロナウイルスショック立ち止まらない福祉の現場シリーズ」次回10月号は、病気や障がいなどの理由で、お金を含めた生活全般に困っている方へのくらしを支える社協の取り組みをご紹介します。

企業の経営状況の悪化で、勤務時間や日数を減らされたサラリーマンや、外国人労働者の方。臨時休校で子どもを世話するために、仕事を休まなければならなかったひとり親家庭のお母さん。失業したり、転

職や復職を断られてしまったりした方もあります。大幅な収入の減少が続くと、生活費が不足して家賃が払えない、食べていくことができないなどの事態につながります。

国の特別定額給付金(1人10万円)の支給を待っていない方も、支給されても、たまっていく家賃や公共料金の支払いに消えてしまう方もあります。こうした場合、資金貸付だけでなく、食料支援や、行政と

連携して就労支援や他の公的制度的利用などを支援することもあります。今日の生活に困っている方の支援は、待たなし。さまざま活動が自粛される中、社協の窓口では、マスク姿の専門職

員が、新型コロナウイルスの予防対策をしながら、相談や申し込みの対応を続けています。また、生活に困って相談にいられた方に対し、社協に寄贈された手作りマスクや食品の詰め合わせを「まごころボックス」としてお渡しして、地域のみなさまからの応援物資をお届けする活動も行っています。社協は、今日も立ち止まることなく、くらしを支える活動を続けています。



声をかけながら食事介助するスタッフ(大口社協デイサービスセンター)

## 密接する介護サービス 「新しい生活様式」対応を模索

利用者が、介護スタッフとの密接や濃厚接触を避けることが困難な介護の現場で、どこまで新型コロナ対策を講じながら営業を続けられるのか。

たとえば、食事や着替え、オムツ交換、入浴、トイレの介助。身体を支えて移動する、車いすの乗り降りを手伝う。耳が遠い人に、耳元で話しかける。そばで声をかけ見守る。

このように、人と人が密接せざるをえない環境で、感染症対策の技術やマスク・防護服などの物資も乏しい介護の現場。しかし介護は、利用者や家族にとつてライフラインのひとつであり、5月までの緊急事態宣言下でも休業要請の対象外でした。

高齢者、特に80歳以上の人が罹患すると重症化し、命を落とすリスクが高いと言われる

ていることから、全国の介護事業所は、第二波・第三波への危機感を強めています。

5月初め、厚生労働省より新型コロナウィルスを想定した「新しい生活様式」が公表されました。

「新しい生活様式」とは、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していくもの。

大口社協のケアマネジャー、ヘルパー、デイサービス事業所でも、さまざまな対策や実践に取り組んでいます。

たとえばデイサービスでは、ひとつのフロアで密集しないように、複数の部屋に分け、人の間隔を広く取り、横並びで座る。毎朝の検温で、発熱があれば利用や勤務を控える。マスク

### 新しい生活様式の実践例(抜粋)

#### 基本的な感染対策

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 外出時、症状がなくてもマスク着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。

#### 日常生活で

- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝の体温測定、健康チェック

#### 食事

- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに



少人数のフロアで、横並び、2m間隔で座って食事をする(大口社協デイサービスセンター)



利用者と一緒に買い物や調理などの家事を行うヘルパー  
(大口社協訪問介護事業所)

着用、1時間ごとの換気、手洗い、手指消毒、テーブルやドアノブなどの消毒の徹底。入浴はひとりの職員が担当。外部の人の受入は停止中です。

ホームヘルパーは、手洗い、うがい、検温をしてから利用者宅を訪問し、マスクと手袋を着用して作業。利用者にも検温

やマスク着用をお願いしています。

3月、利用者の周辺で感染疑いのある人がPCR検査を受ける、との情報が入り、利用者宅を訪問していたヘルパーは一時自宅待機に。後日陰性と判明しましたが、その後、職員体制を維持するため、ヘルパーどうしの接触も控え、利用

者宅への直行直帰制度を取り入れました。ケアマネジャーも、電話や郵送での対応を工夫しています。

各事業所でこうした対策を実践しているもの、もし感染者が出たらどうなるのか。

2月、名古屋市内の高齢者デイサービスで、集団感染が発生。市は、市内2区の126か所のデイサービスに対し、14日間の休業要請と、代替サービスの検討を呼びかけました。その結果、約5割が休業、約4割が時間短縮や入浴サービス限定など事業縮小、通常営業は2か所のみ。



ヘルパーどうしの打合せもシートを介して  
(大口社協)

全国的にも、感染流行地域でデイサービスの自主的な休業が相次ぎました。利用者宅を訪問する代替サービスで対応した事業所もありますが、すべて代替することは難しいようです。

家族やケアマネジャーからは、「家で入浴できなくて困った」「利用者の心身機能が低下した」など不安の声が上がったと言います。

いかに新型コロナウイルスの感染を防ぎ、高齢者の命と健康を守りながら、生活を支えるか。人と人が密接する介護の現場で、日々対応の模索が続いています。

## 善意だより



**トヨタ紡織株式会社 長谷川 様(左)**  
「エアフィルターの技術を活かして、2枚重ねのフィルターで、口や鼻に触れない立体構造のマスクを自社生産しました。」

## マスクのご寄贈ありがとうございます

「福祉で役立てて欲しい」と、企業・団体や個人の方から、社協へマスクをご寄贈いただきました。マスク不足で誰もが困っていた時期に、福祉サービス利用者や生活に困っている方に配布し、大変喜ばれました。厚く御礼申し上げますとともに、ご報告します。(4月23日～6月9日取扱分)

身体障害者福祉協会 様  
更生保護女性会 様  
服部 みどり 様  
トヨタ紡織株式会社 様  
町内企業 様  
大口社協デイサービス利用者ご家族 様  
匿名

手作りマスク50枚  
手作りマスク46枚  
手作りマスク20枚  
フィルターマスク10,000枚  
不織布マスク2箱  
手作りマスク10枚  
不織布マスク1箱



障がい者スポーツ大会



替地ふれあいサロン



外坪区サロンほっこり



第35回 大町障がい者スポーツ大会



上小口区サロン散歩道

# 春

新型コロナウイルス感染予防のため、外出や人との接触などを控える生活が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。ひとりぼっちになっている方、元気がなくなっている方はいませんか。人と人のつながりの大切さに、私たち社協も改めて気づかされています。感染の心配が落ち着き、再び集う日を願って...

## 人をつなぎ、孤立を防ぐ 地域福祉活動 社協の1年

令和元(2019)年度

6月

- 下小口区 災害対策講座講師
- 大町障がい者スポーツ大会
- 上小口区サロン散歩道オープン支援
- 大町西小学校 福祉実践教室  
(視覚障がい者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験、車いす体験)
- 大町南小学校 福祉実践教室  
(点字教室、視覚障がい者ガイドヘルプ)
- 中小口コミュニティ運営委員会 災害対策講座講師

5月

- ボランティア活動・ボランティア連絡協議会の支援(通年)
- ふれあいサロンの支援(通年)
- おたすけ隊サービス(通年)
- 大町中学校 福祉実践教室  
(知的障がい・発達障がい理解)
- トヨタ紡織(株) 企業向け福祉講座  
高齢者疑似体験講師派遣
- かんたん料理教室〜春編

4月



大町南小 点字教室



大町南小 視覚障がい者ガイドヘルプ



トヨタ紡織(株) 高齢者疑似体験



かんたん料理教室



大町西小 車いす体験



大町中学校  
知的障がい・発達障がい理解



夏休みボランティア出前講座  
(大回町手話サークルコスモス)



ボランティアセンター運営委員・  
ボランティア連絡協議会 合同研修会



大回南小 車いす体験



夏休みボランティア  
出前講座  
(レクリエーション  
ボランティアここね)



夏休みボランティア出前講座  
(大回町災害救援ボランティア)



大回南小 車いす体験

# 夏秋

9月

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練  
 災害ボランティアコーディネーター養成講座(第1回〜3回)  
 河北区サロニ陽だまり地域ふれあい会食会の支援(2会場)  
 (岩手県遠野市)

8月

大口中学校JVC 夏休み福祉体験  
 夏休みボランティア出前講座  
 南児童センター  
 (災害救援ボランティア)  
 北児童センター  
 (大回町手話サークルコスモス)  
 西児童センター  
 (レクリエーションボランティアここね)  
 かんたん料理教室(夏編)  
 災害時相互応援協定継続事業

7月

大回西小学校 福祉実践教室  
 (車いす体験)  
 ボランティア連絡協議会・ボランティアセンター運営委員会合同研修会  
 ひとり親家庭夏休み日帰り旅行  
 (ユニバーサルスタジオジャパン)  
 町内福祉施設見学ツアー  
 大口中学校 平和学習会「語り部の会」(遺族会支援)



災害ボランティア  
コーディネーター養成講座



大口中学校JVC 夏休み福祉体験



町内福祉施設見学ツアー



災害ボランティア  
コーディネーター養成講座



地域ふれあい会食会  
(河北区陽だまり)



下小口区 災害対策講座



おせち料理配布事業



身体障がい者日帰り旅行



ふれあいまつり 炊き出し支援訓練



大町町表彰式



介護者のつどい



ふれあいまつり 介護事業所ブース

# 秋冬

12月

11月

10月

- 災害ボランティアコーディネーター養成講座(第4回)
- 北地域避難・防災訓練の参加・協力
- 町職員向け防災研修講師
- 大町西小学校 福祉実践教室
- (点字教室、手話教室、盲導犬教室)
- 身体障がい者日帰り旅行(伊吹山)
- 大町ふれあいまつり ふくしわくわくランド 災害時炊き出し支援、社協介護サービス事業所PR
- 介護者のつどい
- 被災地支援ボランティアバス運行
- 令和元年台風第19号被災地・長野市北部で災害ボランティア活動
- 大町南小学校 福祉実践教室(手話)
- 認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練(南地域・中地域)の参加
- 大町町表彰式
- (社会福祉協議会会長表彰、会長感謝)
- 大屋敷区 防災対策講話講師
- かんたん料理教室(秋編)
- 大町南小学校 福祉実践教室(盲導犬)
- 余野区ふれあいサロン勉強会
- 子育てサロンのクリスマス会支援
- 西尾張ブロックボランティアフェスティバル(犬山市)
- おせち料理配布事業
- (85歳以上単身・高齢者世帯対象)



西尾張ブロックボランティアフェスティバル



被災地支援ボランティアバス運行



大町西小 手話教室



子育てサロンまむまむ



長野市北部での災害ボランティア



大町西小 防災教室



外坪区サロンほっこり会食会



地域ふれあいサロン連絡会



ざつきヶ丘区サロンざつき



河北区陽だまり会食会



大屋敷新田地区 いっぶく茶屋



大回北小 盲導犬教室

# 冬春

総合福祉相談・権利擁護事業  
貸付事業・食料支援 など

福祉関係団体支援

（母子父子自立支援相談、女性相談、高齢者・障がい者の弁護士相談）

心配ごと相談所

機・ポップコーン機・障がい者スポーツ用具等の貸出

オリンジカフェ・大口

貸出事業 車いす・福祉車両・わたがし

紙・メッセージカードを贈呈

赤ちゃん訪問プレゼント事業

民生委員・児童委員ドアノックング事業

で活用していただきました

ふれあいサロンでの「地域ふれあい会食会」の支援

米寿お祝い品贈呈事業

生活支援おたすけ隊サービス

忘れない3・11防災パネル展

ひとり親家庭お祝い金贈呈事業

ガイドヘルプ

外坪区サロンほっこり7周年支援

かんたん料理教室～冬編

3月

2月

1月

北地域自治組織「福祉の集い」認知症を

知り、徘徊者捜索対応の参加

地域ふれあいサロン連絡会

大口北小学校 福祉実践教室

（車いす体験・手話教室、視覚障がい者

ガイドヘルプ）



ざつきヶ丘区元気会



米寿のお祝い品贈呈事業



生活支援おたすけ隊サービス



オリンジカフェ・大口



大屋敷区にここ



赤ちゃん訪問プレゼント事業

# 令和2年度事業計画



## 基本方針

人口減少と少子高齢化、小世帯化の進行等の社会構造の変化が進み、私たちの暮らす身近な地域においても、さまざまな生活課題が生じています。

高齢や病気・障がい等による生活のしづらさ、生活困窮、孤独な子育て、ひきこもり、社会的孤立、老老介護、8050世帯等、世代を超えて複雑・多様化する生活課題は、既存の制度・サービスだけでは解決に至らないことも多くみられます。

こうした生活課題を抱えながらも、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域共生社会に向けて、今、地域住民のみならずの参加を得ながら進める「支え合いの地域づくり」と、専門職による「伴走型の個別支援」を組み合わせた包括的支援体制の構築が、地域福祉として求められています。

本会は、地域福祉部門の「支え合いの地域づくり」と「伴走型の個別支援」、さらに在宅福祉部門の介護サービスをひとつの法人の中で一体的に取り組みながら、他機関との連携や地域資源を積極的に活用し、いち早く支援体制を整えることができるところが、大きな強みです。

今後は、各部門の事業をさらに充実させるだけでなく、地域福祉の技術をもったコミュニティソーシャルワーカーの職員配置を進め、地域福祉の視点を活かして地域住民の日常生活を支え、人をつなぎ孤立を防ぐ地域福祉活動の推進に努めます。

あわせて、地域住民や民生委員児童委員をはじめとする福祉関係者、企業、行政関係機関のみならずの理解と協力を得られるよう法人運営の基盤強化と職員の資質向上に努め、重点取組の柱を定めてワンチームで地域福祉推進に取り組めます。

## 重点取組5つの柱

### ワンチームの地域福祉推進

法人運営の基盤強化

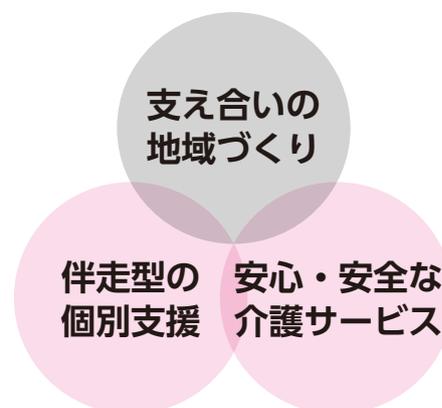
「支え合いの地域づくり」の推進

「伴走型の個別支援」の充実

平常時の災害への備え

安心・安全な介護サービスの提供

## 社協の特色



大口社協は、「支え合いの地域づくり」と、福祉専門職による「伴走型の個別支援」、ヘルパー・デイサービス等の在宅介護サービスをひとつの法人の中で一体的に取り組むことができるところが、大きな特色です。

## 誰もが安心して暮らせる 福祉のまちづくり

～人をつなぎ、孤立を防ぐ地域福祉活動～



### 「支え合いの地域づくり」の 推進

『大口町総合計画』において、地域福祉は健康で安心な暮らしの基本施策のひとつとして位置づけられており、その取り組み目標は、本会及びその事業と密接に関わっています。

地域住民やボランティア、民生委員児童委員のみなさまの参加を得ながら、「支え合いの地域づくり」に向け、それぞれの地区の地域性に合わせて取り組みを推進します。

- ボランティアセンター事業(人材育成)、
- ふれあいサロン事業、● 生活支援体制整備事業(生活支援おたすけ隊サービス事業)、
- 高齢者福祉事業(おせち料理配布事業等)、
- 児童福祉事業(福祉教育、ドアノッキング事業への協力)、● 地域福祉活動事業(防災・災害関連事業)等

### 平常時の災害への備え

近年、地震だけでなく身近な台風、豪雨等による災害が相次いでおり、各地の市町村社協が災害ボランティアセンターを開設し、災害時のボランティア活動をコーディネートしています。

ボランティアや行政と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練と人材育成に努め、災害用備品の整備等の備えを進めます。

- 地域福祉活動事業(防災・災害関連事業)、
- ボランティアセンター事業(災害ボランティアセンター)、● 災害時相互応援協定継続事業

### 「伴走型の個別支援」の 充実

さまざまな生活課題や日常生活の困りごとを抱えるすべての世帯を対象として、専門職が幅広く相談を受け、必要に応じ食料支援や資金貸付、福祉サービス利用援助、金銭管理、介護サービス、就労支援等、多様な課題解決策を用いて支援します。

その後も何年もかけて伴走しながら、制度外の福祉ニーズにも対応した柔軟な支援を行います。

こうした専門職による「伴走型の個別支援」は、本会の相談事業の大きな特色であり、長年の実践を活かして一層の充実を図ります。

- 総合福祉相談事業、● 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)、
- 貸付事業、● 福祉育成援助事業(食料支援)、
- 心配ごと相談事業

### 安心・安全な介護サービスの 提供

ご利用者の健康と命の安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、制度の狭間で困難な生活課題を抱える人も含め、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努めます。あわせて、地域への介護情報の発信や介護予防体操等の出前等、介護予防普及啓発事業を推進します。

- ケアマネジャー、● ヘルパー、● デイサービス

### 法人運営の基盤強化

評議員会・理事会を中心とした社協組織全体でのチェック体制の強化に努め、財務状況や事業内容の積極的な公表等とあわせて、事業運営の透明性の確保を推進します。

また、社協会員の拡大により地域福祉事業の自主財源確保に努めるとともに、職員の人材確保と資質向上、コミュニティソーシャルワーカーの職員配置を推進し、法人運営及び事業実施の体制整備に努めます。

令和2年度

# 大口町社会福祉協議会 予算のあらまし

## 予算総額 155,842,000円

### ●収入の部

項目	金額(単位:千円)	構成比(単位:%)
会費収入	3,200	2.1
寄付金収入	401	0.3
補助金/助成金収入/共同募金配分金	37,106	23.8
受託金	2,364	1.5
貸付・その他事業収入	1,653	1.1
介護保険事業等収入	59,917	38.4
障害福祉サービス等事業収入	15,558	10.0
その他の活動収入	7,234	4.6
繰越金(前期)	28,409	18.2
計	155,842	100.0

### ●支出の部

項目	金額(単位:千円)	構成比(単位:%)
法人運営事業	42,823	27.5
企画・広報事業	1,130	0.7
地域福祉推進事業	1,090	0.7
相談事業	565	0.3
資金貸付事業	2,500	1.6
ボランティアセンター事業	3,661	2.3
福祉サービス利用援助事業	267	0.2
生活支援体制整備事業	1,529	1.0
共同募金配分金事業	5,258	3.4
老人デイサービスセンター事業	46,561	29.9
居宅介護支援事業	15,412	9.9
居宅介護等事業	28,927	18.5
障害福祉サービス事業	6,039	3.9
介護予防普及啓発事業	80	0.1
計	155,842	100.0

## 令和2年度 大口町社会福祉協議会会員募集

### 社会福祉協議会(社協)会員にご加入をお願い申し上げます

日頃は、本会諸事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会(以下、社協)では、毎年7月・8月、町内世帯の皆様には各区の区長さんを通じて、企業・法人様には社協より直接加入のお願いしてまいります。

「誰もが、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、社協の地域福祉活動・事業の趣旨にご理解を賜り、会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

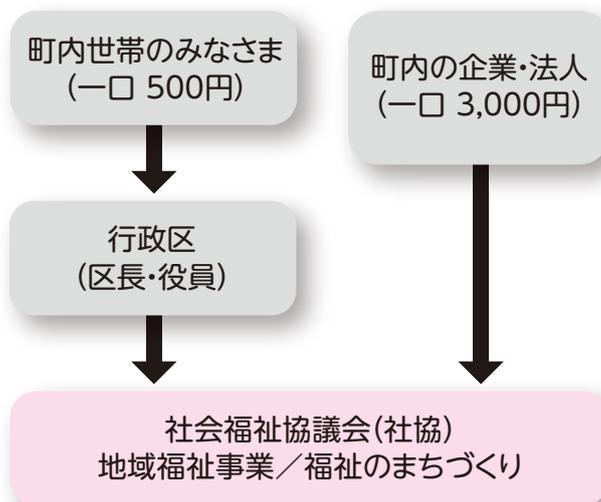
社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 会長 社本 一裕



### ●令和元年度 社協会員加入実績(令和2年3月末時点)

区分	□数	金額(円)
一般会員 賛助会員	4,787	2,462,500
法人会員	104	654,000
合計		3,116,500

### ●社協会費募集の流れ



### ●社協会員 年間会費

- 一般会員 一□ 500円
- 賛助会員 一□ 1,000円
- 法人会員 一□ 3,000円

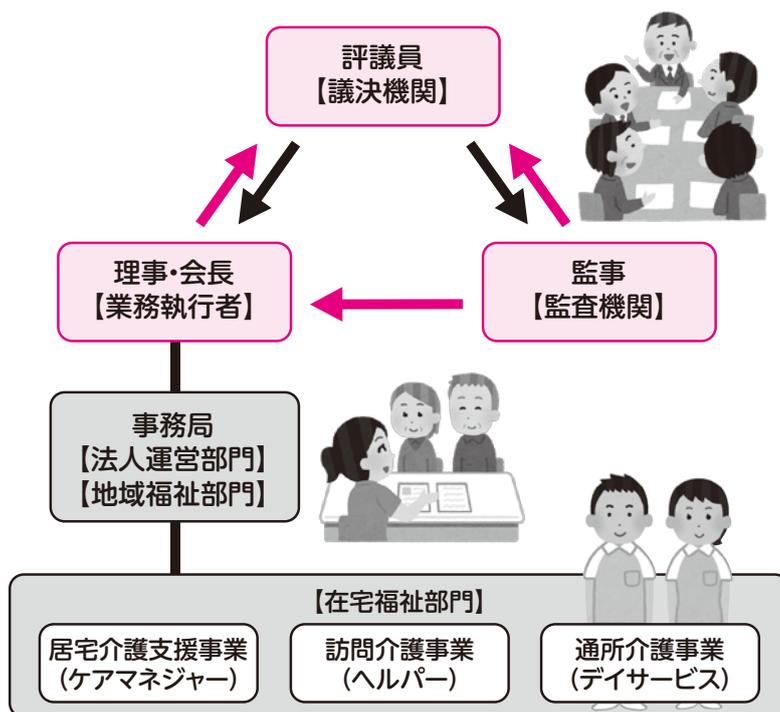
※シールの配布はございません

# 大口町社会福祉協議会 評議員・理事・監事のご紹介

大口社協は、地域のみなさまの幅広い意見を取り入れながら公共性・透明性の高い事業を実施するため、住民代表や団体代表等の方々の参加により、評議員会・理事会を組織しています。

以下のとおり、評議員・理事・監事をご紹介します。

(令和2年6月末現在 順不同、敬称略)



## ●理事(11名)

選出区分	氏名
区域における福祉に関する実情に通じている者	長谷川 実
	大森 明
区域において社会福祉事業を経営する団体の役職員	佐野 新
	遠藤 匡彦
ボランティア活動を行う団体の代表者	川橋 朝次
地縁組織(自治組織など)代表	杉本 勝広
福祉関係団体	宮地 弘信
	安藤 巖
社会福祉事業の経営に識見を有する者	社本 一裕
	田中 義郎
	宇野 千春

## ●会長・副会長(各1名)

役職	氏名
会長	社本 一裕
副会長	安藤 巖

## ●監事(2名)

選出区分	氏名
財務管理について識見を有する者	渡邊 弘和
社会福祉事業の経営に識見を有する者	前田 和久

## ●評議員(33名)

選出区分	氏名		選出区分	氏名		
社会福祉事業や学校等のその他公益事業の経営者	田中 一輝	鈴木 洋子	地縁組織(自治組織など)の代表者	鈴木 誠	松岡 兵一	
地域の福祉関係者(民生委員・児童委員)	松岡 徳雄	中西 房子		前田 利寛	能田 正美	
	宮地 里美	河合 知加子		大竹 幹雄	近藤 和充	
	松坂 志づ子	近藤 義文		丹羽 義文	尾関 茂樹	
	津田 三枝子	奥村 正義		武田 静雄	大島 隆典	
	水野 幹子	西村 武司		伊與田 泰司	加藤 憲司	
	五十嵐 進			後藤 卓郎	伊澤 清	
地域の経済団体が適切なものとして推薦する者	社本 義寛	酒井 孝		近藤 喜昭	瀬川 行男	
区域内において社会福祉事業を経営する団体の役職員	西尾 洋司			ボランティア活動を行う団体の代表者	遠山 豊子	



今回は、一般的な備えに加え「高齢者のための防災の備え」について一例をご紹介します。

皆様のご家庭でも災害に備えて「非常持出袋」を用意されていることと思いますが、高齢の方は、今の身体状態や生活に合わせた備えを考えてみましょう!!

### 食事・水に関するもの

火を通さずに食べられる物  
ラップ・紙皿・紙コップ  
割りばし等

### あと便利なもの

“呼び笛”  
大声を出して  
体力が消耗する  
事を防ぎます。

季節に応じ  
使い捨てカイロ

## 一般的な備え(例)



### トイレ・清潔に関するもの

歯磨き用具・ティッシュ  
口腔洗浄液・髭剃り  
タオル

懐中電灯・予備電池  
ライター・ろうそく・小銭  
ビニール袋・大判風呂敷等

### 健康管理に関するもの

体温計・マスク  
薬・絆創膏等

## 「高齢者の備え」としての一例

### 1. 杖(折り畳み式の杖がおすすめ)

避難する際に使うものではなく、あくまで避難後の生活で使うものです。

### 2. オムツ・尿取りパットなど(ケア用品も含む)

吸収力が高いので、汚れを吸収させたり、水を使う処置のときに敷いたりして使えます。断水時、ビニール袋を便座にかぶせて中にオムツを敷くと、簡易トイレとしても使えて後始末も簡単です。

### 3. 食べやすく、消化がよい食品(必要に応じてトロミ剤を)

レトルトタイプのお粥・汁気の多い缶詰・ベビーフード・栄養補助食品など配給される食べ物は、パンやおにぎりなど炭水化物が多く、たんぱく質やビタミン・ミネラル・食物繊維が不足しがちです。

嚥下機能が衰えている方は、乾パンはパサつきやすいので、水や牛乳で浸すとよいです。食事制限がある方は、普段食べ慣れている物を用意しましょう。

### 4. 老眼鏡や補聴器(予備があれば)

就寝時に災害が起きたとき、枕もとにおいてあるメガネすらとる余裕がないかもしれません。

### 5. 入れ歯洗浄剤・ウエットティッシュ 水のいない入れ歯洗浄シートもお勧めです。

### 6. 室内履き かかとを包むものが良いです。

### ※電源が必要な医療機器の非常時の在宅での対応

電動ベッドやエアマット、在宅酸素療法機器など、福祉用具のレンタル元や製造会社に非常時の使用方法を確認しておくといいでしょう。次回は、防災用品の分別方法や自宅の備蓄品についてご紹介します。

【お問い合わせ先】 大口町社会福祉協議会(0587-94-0060)



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体  
「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

## 大口町立図書館の紹介

 **開館時間** 9:00～17:00  **連絡先** 0587-95-3999

 **休館日**  毎週月曜日、特別館内整理期間、年末年始、毎月第2木曜日(館内整理日)

☆ 月曜日が祝日にあたる場合は開館し、次の平日が休館となります。

☆ 毎月第2木曜日が祝日にあたる場合は第3木曜日が休館となります。

### 季節のえほん特集コーナー

児童室内の窓際に季節に合わせた楽しい絵本の特集を毎月おこなっています。  
親子で一緒に好きな絵本を探してみてください。



### ひよこルーム

くつを脱いで自由な格好で、親子一緒に本を広げて声を出して読んであげてください。  
とっても大きな大型絵本やしかけ絵本などの楽しい絵本がいっぱいです。  
また、授乳スペースや0～3歳の育児書もあります。



## 図書館の館長さんにお話を伺いました

### ♡ 絵本選び ♡

大人がいいと思うものが、必ずしも子どもも楽しめるわけではありません。図書館のひよこルームで、子どもに読み聞かせをしてもらって反応のいい本を探すことをお勧めします。

同じ本を何度も読みたがる子どもがたくさんいます。お気に入りの絵本になったら購入してもいいかもしれません。

生まれたての赤ちゃんでも耳は聞こえています。声によって親を認識しているという話を聞きました。絵本は親子のふれあいにいいアイテムです。いろんな本を読んであげてください。

### ♡ 父子の図書館 ♡

最近、父子で図書館に来る人が増えています。お父さんからの要望があり、男子トイレにもオムツ替えスペースを設置しました。図書館は、雨の日や暑い時も快適に過ごすことができる場所です。

お父さんとのお出かけスポットとして、ぜひいらしてください。絵本の読み聞かせを、お父さんにおまかせするのもいいのでは。

新型コロナの感染状況によっては、変更の可能性があります。詳細については、直接、図書館にお問い合わせください。

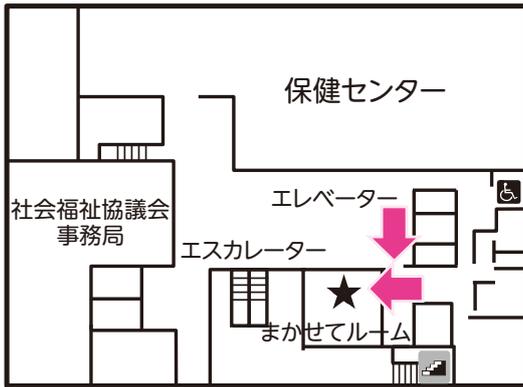


## おもちゃ病院おあぐち 令和2年7月から再開



新型コロナウイルスの影響で、ボランティアドクターたちもお休みしていましたが、こわれたおもちゃの治療(修理)を再開します。

- 開院日** 毎月第2土曜日 10:00~12:00
- 場所** 健康文化センター2階 まかせてルーム  
(※新型コロナウイルス感染予防のため、会場変更)
- 修理代** 原則無料。ただし、300円以下の部品交換が発生した場合は、部品代をいただくこともあります。300円を超えた場合は、依頼主と相談の上、治療を行います。
- 注意点** 症状によっては、入院(預かり)もあります。完治しない場合もありますので、ご了承ください。
- 受付できないおもちゃ**  
ゲーム機(DS、PSPなど)、弾丸が出るおもちゃ、アンティーク(ブリキ製など)、メーカーの製品補償期間中のおもちゃなど
- 問合せ先** 社会福祉協議会 電話 94-0060



健康文化センター2階 会場案内図

## 行事中止等のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、今年度開催予定の行事の一部を中止とさせていただきます。

**現在、中止する行事の代替事業を検討中です。詳細は次号、社協だより10月号でお知らせします。**

何卒ご理解いただきますよう、お願いいたします。

### 中止する行事

- ひとり親家庭夏休み日帰り旅行
- 身体障がい者日帰り旅行
- 第36回大口町障がい者スポーツ大会
- 夏休みボランティア出前講座(児童センター)
- 町内福祉施設見学ツアー
- 大口中学校JVCによる青少年等ボランティア体験

## 善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。

順不同(3月15日~6月9日 取扱い分)

※マスクの寄贈については、5ページに掲載しております

マザックボランティアクラブ 様	16,695円 (エコキャップ)
連合愛知 様	使い捨て携帯トイレ 2ケース(400個)
トヨタ紡織株式会社 様	手指消毒用高濃度 エタノール「酔仙77」12本
匿名	紙オムツ(未使用品)



企業の  
社会貢献活動

### トヨタ紡織株式会社 様より「酔仙77」寄贈

東日本大震災で被災した酔仙酒造株式会社(岩手県陸前高田市)が、消毒用エタノールの代替品として手指消毒に使用可能な製品を開発。

トヨタ紡織様は、「新型コロナウイルス対策と、震災復興支援を兼ねた社会貢献活動になれば」と、製品を取り寄せ、マスクとともに寄贈されました。